



子育て支援事業、学校・各施設等との連携事業

青森県 田子町立図書館

基本データ

所在地	青森県三戸郡田子町大字 田子字天神堂向 22-9
職員数	7人
うち司書数	1人
蔵書数	37,224冊
利用登録者数	1,454人
年間貸出冊数	17,567冊
	(児童用図書貸出数 7,364冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 子どもの読書活動を推進するためには、絵本を介して子どもと触れあい、絵本の楽しさを伝え、赤ちゃんの健やかな成長と保護者の子育てを支援する取組が必要である。
- 子どもの読書習慣を形成する上で、学校・幼稚園・保育園は大きな役割を担っている。子どもが、自由に読書を楽しむことができるような環境を整備し、町立図書館が適切な支援を行うことが必要である。このため、学校・施設等と町立図書館が相互理解を深め、様々な面で連携し、子どもの読書活動を推進していく。

取組・活動の概要

(1) ブックスタート

- 4か月児の赤ちゃんと保護者を対象に、平成28年度から、地域包括支援課の協力のもと、毎月乳児健診時に実施。
- 「赤ちゃん絵本を介して触れあいながら、一緒に楽しんでくださいね。」と保護者に伝える。絵本2冊、おすすめ絵本紹介冊子、図書館カレンダー、バッグ等「ブックスタートパック」をプレゼントする。図書館内にある「子育て支援コーナー」の案内をする。

(2) セカンドブック

- 3歳6か月児の子どもと保護者を対象に、平成30年度から、地域包括支援課の協力のもと、毎月こども健診時に実施。
- 4冊の絵本の中から好きな絵本を子どもに1冊選んでもらい、引換券を差し上げる。後日、来館していただき、絵本と貸出用バッグをプレゼントし、図書館内の「子育て支援コーナー」や絵本のコーナーを案内する。

(3) 学校・施設図書担当者会議

- 平成7年度から、年1回5月開催。町内小学校、中学校、県立高等学校、幼稚園、保育園の図書担当者が出席。

- 学校・施設等に対して、図書館が実施する図書館見学や学校図書館支援等の図書館事業を案内し、学校・施設からは図書館への意見・要望等を伺う。また「田子町子ども読書活動推進計画（第二次）」の当年度の行動計画案の提出を依頼する。

(4) 図書館見学の受入

- 平成10年度より、学校・施設図書担当者会議後、図書館見学の申込みがある場合に実施。子どもたちに図書館の利用法を教え、事前に貸出券を作り実際に本を借りることができる。
- 令和元年度は、5月に幼稚園、11月に小学校3校が見学。



図書館見学

(5) 高校生による図書館環境整備

- 平成 25～27 年度に、田子高等学校男子図書委員が作成した「ディスプレイ」と、田子高等学校 3 年生が作成した本を紹介する「POP」を町立図書館に展示した。



田子高等学校生徒による POP とディスプレイ

(6) 学校図書館支援事業

- 平成 25 年度より実施。令和元年度の 1 回目は青森県立図書館「学校アシスト事業」により、県立図書館職員に学校図書館の整備について助言をいただき、その後、町立図書館司書が学校図書館の整備について直接支援する。古い図書の除籍、分類ラベル貼り、本棚のレイアウト等を担当教諭と相談しながら実施。
- 令和元年度は、小学校 1 校から依頼があり、8 月から開始。継続実施中。

取組・活動の工夫や特徴

(1) ブックスタート・(2) セカンドブック

- 健診者リスト送付や日程変更確認等、地域包括支援課の保健師と密に連絡を取りながら実施。
- セカンドブックで絵本を受け取る期間を 1 か月から 2 週間に短くし図書館の負担を軽減。

(3) 学校・施設等図書担当者会議

- 図書館見学や学校図書館支援の申込書等が入っている「田子町立図書館ハンドブック」を各学校・施設に常備していただき、毎年、内容を更新している。
- 毎年、全ての先生方へ図書館利用案内を配布している。

(4) 図書館見学の受入

- 図書館見学の内容を毎回見直している。

- 図書館見学で「ブックトーク」（本の紹介）をした図書を記録に残している。

(5) 高校生による図書館環境整備

- 本を読むのが苦手でも、本や図書館に親しむきっかけとなるように、田子高等学校図書担当の先生が指導した、図書館を飾る「ディスプレイ」は、男子図書委員が中心になって 3 年連続で作成した。また、本を紹介する「POP」は、3 年生が国語の授業で作成した。

(6) 学校図書館支援事業

- 学校図書館整備は時間がかかることがわかったため、今後は、ボランティアや PTA も参加できるよう工夫したい。

取組・活動の成果や今後の展望

- ブックスタートとセカンドブック実施時に「家庭で読み聞かせをしているか」等、保護者にアンケートを行っている。ブックスタート時とセカンドブック時で、保護書の意識がどのように変化しているのか、統計をまとめる予定。
- セカンドブックで絵本を受け取りに来館する時に、貸出券を作成する親子が多い。今後、図書館や本に親しんでくれることを期待したい。
- 図書担当者会議は、先生を知るとても良い機会であり、より連携して取り組めるようになった。
- 図書館見学に来た子どもたちは、来ない子どもたちに比べ図書館利用が増加した。図書館職員が子どもたちを知り、子どもたちが図書館職員を知るとても良い機会になっている。
- 田子高等学校男子図書委員の「ディスプレイ」作成では、「自分たちで考えたディスプレイを暗くなるまでコツコツ作り、地味な作業だがとても良くやっていた」と担当の先生から伺い、高校生が 3 年間続けてくれたことに大変感動した。
- 学校図書館支援は、年間計画を立てて実施していく。